



# 脱原発！地産地消の電力を

## 地域に雇用・基盤産業の一つに 活性化も

### 再生可能エネルギーを生かした 地域活性化事業が、地域をすくう

5 年前の福島原発事故を契機に、脱原発、再生可能エネルギーへの転換が叫ばれました。



それを受け、北海道も、再生可能エネルギーなどを活用した「低炭素型地域づくり ハンドブック」で、次のように述べています。

『北海道は、風力、太陽光、水力、温泉熱などの自然エネルギーや農林水産資源などのバイオマス資源があるなど地域資源が豊富にあります。北海道では、こうした地域資源を活かした

再生可能エネルギーの地産地消を図るとともに、道内の各地域にて活躍する団体、事業者、町内会・自治会などの皆様が省エネルギーや再生可能エネルギーを積極的に導入されることで、「資源等の域内循環」(外部に流出してた資金が域内にとどまり、域内で景気が循環すること)や「産業の育成」、「コミュニティの創造」など、様々な側面から地域の活性化を図る「低炭素型地域づくり」を推進しております。』

昨年、道議会でも、宮川潤共産党道議が、以下のように質問しました。

『政府が示すエネルギーミックスでは、2030 年までに原発と石炭火力で約 50% の目標と、まるで福島の原発事故などはなかったかのような原発回帰の姿勢をとっています。原

### 長野のように道も 地元業者への支援を

長野県は、2013 年度の県内の自然エネルギー発電設備の容量が既に 2020 年度目標値を大幅に上回り、発電設備容量で見るとエネルギー自給率は 70% と、長野県総合 5 か年計画に掲げる 2017 年度目標を 4 年前倒しで達成したという再生可能エネルギーの先進地となっています。

エネルギーの地産地消を図るとともに、道内の各地域にて活躍する団体、事業者、町内会・自治会などの皆様が省エネルギーや再生可能エネルギーを積極的に導入されることで、「資源等の域内循環」(外部に流出してた資金が域内にとどまり、域内で景気が循環すること)や「産業の育成」、「コミュニティの創造」など、様々な側面から地域の活性化を図る「低炭素型地域づくり」を推進しております。

その長野県で、売電収入を域内で循環させるために、発電事業に取り組む地元業者の資金調達を支援する補助金を創設



し、好評だとのことであり、道は、発電電力量の 3 分の 1 を新エネルギーで賄うとして、知事も、国に先駆け、数値目標を設定し、たと胸を張っています。しかし、残念ながら、エネルギーの種類ごとの工程表が示されておらず、具体的には欠けると言わざるを得ません。』

積極的に取り組んで成果をあげている県と比べ、北海道は、立派な計画プランを打ち上げながら、具体的には欠けています。地域に必要な電力は地元で作ります。北海道は、再生可能エネルギーの宝庫です。

地域の雇用の場をうみ、地域の基盤産業の一つになりうる可能性を持っている。電気事業法が改正され、これまで電力会社が独占していた電力事業に、他企業も参加できるようになり、この 4 月から小売りが電気事業がスタートしています。

地域に必要ないままに、地域活性化を呼ぶ機会に

地域に雇用がうまれば、若者が地域に Uターンしてくる条件がそろいます。将来に禍根を残す原発から撤退し、地域活性化の可能性を秘めた「再生可能エネルギー」を利用する方向へ、大きく転換することを、地域住民が議論することから始めるべきではないでしょうか。



# リンデンコール 七〇周年記念演奏会

リンデンコールは創立70周年記念演奏会を開催します。

会場はホテルシュエパロで「入場無料」とし、多くの市民の方々が聴いて下さるようプログラムチラシを配布しています。

## リンデンコール創立70周年記念演奏会 7月30日(土)14時30分～

- ◆混声合唱「ディズニー名曲集」から 右から2番目の星 他
- ◆テノールとサクソフォンの調べ～平田隆男 松平和 他
- ◆リンデンコール OB 会混声合唱組曲「北の大地」から海あけ 他
- ◆「景浦花先生を偲んで」  
混声合唱 アヴェ・ヴェルム・コルプス マザーテレサ「愛のことば」から  
ソプラノ独唱 上田敦子さん アヴェ・マリアほか、  
混声合唱「富山に伝わる三つの民謡」



## くずさんの 夕張歴史散歩 (5)

### 全国坑夫組合 夕張全域に

明治40年のたたかいに惣代として信頼の厚かった坂口角蔵は、会社を首になり斜坑の長屋も追い出されます。(連載2回高松居住は、誤り) それでも夕張を去らず、炭坑夫とつながりを保ち坑夫組合の組織に奔走していきます。

彼、角蔵には「鶴治」(戸籍上、弟の説もある?)「義治」との二人の息子がいました。

### 全国坑夫組合夕張支部、演芸場で結成

大正8年10月7日に全国坑夫組合がつくられますが、当時、早稲田の学生の「坂口義治」はこの設立に参加していました。

そして父「角蔵」、兄の支柱夫だった「鶴治」たちと共に、坑夫三百名を組織して一九一九年(大正8年) 11月27日、演芸場にて全国坑夫組合夕張支部を結成します。

翌一九二〇年(大正9年) 4月、八つの支部(丁未・高松・斜坑第一・斜坑第二・旭・鹿ノ谷・登川・楓)\*をもつ「全国坑夫組合夕張連合会」に発展します。(連載2回目)

こうして、今まで坑口ごとのたたかいは、ようやく夕張全体の炭鉱が一つにまとまった運動が出来るようになりました。

\* 真谷地の支部は、このときは参加していない。

### 全日本鑛夫総連合会が結成さる

全国ではようやく鉾山労働者の統一の機運が盛り上がり、友愛会鉾山部、鉾山労働同盟会、鉾夫組合の統一が進みます。折からの不況の中、各鉾山で人員整理・合理化攻撃が激しくなります。

こうして一九二〇年(大正9年) 10月20日、全日本鑛夫総連合会が結成されます。夕張連合会もただちに参加、名称も「全日本鑛夫総連合会夕張連合会」としました。



紙智子「国会かけある記」  
参議院議員

# 紙智子

## 三つのチェンジを語り尽くし勝利へ

いよいよ参議院選挙も最終盤です。比例カーや、候補者カーでの街頭宣伝の合間で、国会報告と懇談を行っています。

たずねると、事務所自民党の候補者のポスターが張ってあるところもあります。でも、国会報告の資料を渡し、TPPは継続審議で、決まっていないこと、秘密協定の異常さを伝えるとともに、しんぶん「赤旗」のアンケートに、回答があった八割の団体が、「国会決議は守られていない」、さらに八割が「安倍政権の農政は支持できない」と回答していることを話すと、「TPPは国内対策に議論がすり替えられている。影響試算は誰も信用していない」などといわれます。

また、ある介護の関係者に、アベノミクスの破綻と、三つのチェンジを説明すると、「最低賃金を一〇〇〇円にしよう」という集会をやっていた。賃金を一〇〇〇円にすれば、介護の事業所は経営できなくなると思っていたが、税の集め方は負担能力に応じて集め、使い方を国民のくらしや社会保障に使わせ、働き方を人間らしく変えるという、三つのチェンジをやっていけば、施設の経営を支え、働く職員の待遇改善も出来ますね。最低賃金を一〇〇〇円にという主張が、胸におちました」といわれました。

あらためて、切実な要求を聞き取りながら、「三つのチェンジ」を丁寧に語ることが大切だと感じます。戦争法の廃止と合わせ、三つのチェンジを、最後まで語り尽くし、必ず勝利しましょう!